

当院を受診された患者さんとそのご家族および代理人の方へ

当院では下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、連絡期間内に、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

受付番号	20210054
研究課題名	de novo大腿膝窩動脈病変に対する薬剤溶出性バルーン治療の臨床成績及び予後予測因子の検討
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 循環器内科 山口航平
連絡期間	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、西暦2021年12月31日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
研究の目的と意義	「下肢閉塞性動脈硬化症と診断された患者さんのひとりひとりに最も適した治療方法は何か」を明らかにし、より良い治療法の選択に役立てることを目的として行っています。
研究の方法	これまでの診療記録を集計します。新たな質問や検査の必要はありません。 この調査では、担当者が対象となる方のカルテ（診療記録）を選び、薬を飲み始めた当時の症状や、検査の値、その後の経過、特に手術を実施した場合は、いつ手術を実施したかについての記録を集計させていただきます
対象者	西暦2018年4月1日～2020年4月30日の間に、当院で下肢閉塞性動脈硬化症に対してIN. PACT AdmiralまたはLutonix DCBでカテーテル治療された患者さんのうちの一部のかたを対象としています。
利用する試料/情報	1) 年齢、性別、血液検査所見、内服薬 2) 血管エコー、血管造影、CT等により評価した一次開存率（再狭窄の回避率） 3) 標的病変再血行再建実施率 4) 標的血管再血行再建実施率 5) 外科的血行再建術移行率 6) 急性血栓性閉塞発生率 7) 下肢大切断発生率 8) Rutherford分類 9) ABI 10) 総死亡率 11) 有害事象発生率 12) その他、血管造影・血管内超音波所見
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
研究資金源	研究者の私費
結果公表	カテーテルインターベンションに関わる医学雑誌へ投稿予定
研究終了後の試料/情報の取り扱い	研究終了報告日から5年または最終の研究結果報告日から3年のいずれか遅い日まで保管し、匿名加工情報として廃棄します。
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000 済生会横浜市東部病院 循環器内科 山口航平